

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32110
政策名 (章)	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当課	土木部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 骨格幹線道路網の整備		土木計画課
施策名	広域的幹線道路の整備	課長名	内田 徹

1 施策の概要・目的

・市民の日常生活圏の拡大や産業経済活動の広域化に対応するため、都県の区域境界を越えた広域的な交流の軸となる幹線道路の整備を促進する。
 ・市内の拠点間等を有機的に結ぶ幹線道路のネットワークを構築するため、都市計画道路等の計画的、重点的な整備を進めるとともに、将来の交通需要への対応を図るため、新たな都市計画道路の検討を進めます。

2 施策の現状

・首都圏中央連絡自動車道(さがみ縦貫道路)については平成19年度末完成目途に事業中。
 ・圏央道関連アクセス道路である県道52号相模原町田事業中。拡幅延伸については検討中。
 ・津久井広域道路についても事業中。
 ・国道、県道等の整備促進については、多くの路線で事業中。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

925 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

2 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **121** 番目です。

(4) 施策に要している人員

0 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	自動車専用道路の交通分担率を13%から15%に引き上げ	都市再生と地域連携による経済活力の回復	現状	0 50 100	19	目標年度
			目標	達成度	%	
指標2	日常活動圏間交流ルート確保率を66%から68%に引き上げ 日常活動圏中心への安定到達率を61%から66%に引き上げ	国土・地域ネットワークを構築する	現状	0 50 100	19	目標年度
			目標	達成度	%	
指標3	拠点的な空港・港湾へのアクセス率を59%から68%へ向上	物流の効率化支援	現状	0 50 100	19	目標年度
			目標	達成度	%	

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

自動車専用道路ネットワークや一般国道・県道等広域幹線道路の整備により、地域の懸案事項である渋滞が解消されることや、地域間の交流連携が深まるなど、市民ニーズにあっている。また、総合計画の基本方針にある目的が達成されることはもちろん、行政需要の変化に対応していると考えられる。

6 有効性…期待される効果があがっているか

豊かな生活、活力ある地域、人・自然にやさしい環境という3つの方向で道づくりが進められており、活力ある経済に支えられたゆとり社会の実現をめざして、着実に効果が上がっている。
54事業の内13事業完了(24.1%)、18事業が継続(33.3%)合計57.4%が事業化されている。残りの23事業も協議中のものが多く今後の事業化が期待される。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

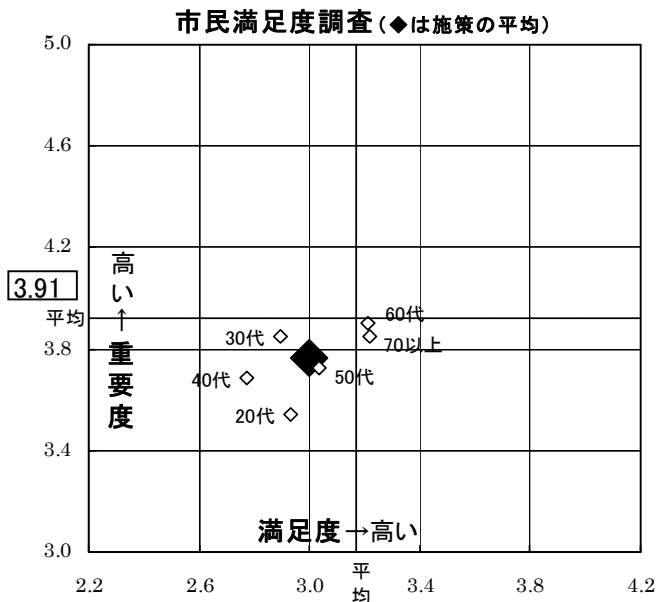
国では事業評価を厳格に実施しています。新規採択時評価、再評価、事後評価を厳格に実施し、着手時から事業完了後までの一貫した評価システムを完成させ、評価結果については、全てインターネットを通じて広く一般に公開するとしています。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、2.998で、調査した51施策の中で48番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.765で、調査した51施策の中で34番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.543で、調査した51施策の中で24番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代で最も低くなっています。重要度は60歳代以上及び30歳代で高く、20歳代で最も低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

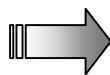


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・道路事業用地取得に関わる地権者の協力等
- ・施設管理者による事業調整等

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

- ・アウトカム指標を用いた事業執行プロセスへの転換により、道路行政の施策・事業を峻別します。
- ・着手時から事業完了後まで一貫した評価システムを完成させ、効率的・効果的な事業の実施を図ります。
- ・成果の高い事業の集中的・重点的な整備を進め、成熟社会に備えます。
- ・規格の見直し、事業のスピードアップ、維持管理費の縮減など総合的なコスト縮減に取り組みます。
- ・道路技術計画を策定し、早期に実用化できるよう技術開発に取り組みます。
- ・供用目標など5年後の姿を提示し、事業の進捗管理を徹底します。
- ・社会実験を積極的に実施し、新たな施策の展開や円滑な事業執行に取り組み

11 2次評価

説明

<input type="checkbox"/> A
<input checked="" type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

説明欄は空欄です。

12 外部意見

説明

説明欄は空欄です。

担当課評価のとおり進められたい。
なお、国・県が事業主体である建設事業は、早期着手、早期完成に向け更に積極的に要請する必要がある。

施策名	広域的幹線道路の整備
-----	------------

施策コード	32110
-------	-------

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要								施策 中の 優先 順位	
					総合 評価	達成 度	必要 性	効率 性	代替 性	満足 度	有効 性	公平 性		今後 の進 め方
相模原津久井広域道路及び国道413号整備促進協議会	国県道対策室	15	180										継続	1
(都)相模原二ツ塚線及び水窪座間線建設促進協議会	国県道対策室	15	80										継続	1
神奈川県都市計画街路事業促進協議会	国県道対策室	15	260										継続	1
関東国道協会	国県道対策室	15	40										継続	1
首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会	国県道対策室	15	80										継続	1
神奈川県道路利用者会議	国県道対策室	15	100										継続	1
相模原市幹線道路網整備促進協議会	国県道対策室	15	185										継続	1

合計 事務事業

925 0.00
千円 人

平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性